



Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム オンライン同窓会（テーマ：開発協力[2]）の記録

1. プログラム目的・概要

Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラムで訪日経験を有する中南米各国の同窓生を対象に、日・中南米間の友好関係向上、同窓生の連携及びネットワークの強化を目的にオンライン同窓会を実施しました。参加者は、JICA 青年海外協力隊（JOCV）として中南米に赴任している日本人スタッフから現地での活動内容を聞き、交流を通じて、異文化で働き生きることについて意見交換をしました。

【参加者】 Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラムの同窓生（2015 年度～2021 年度の参加者）（アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ペルー、ベネズエラの大学生・大学院生、社会人、オンライン訪日経験者を含む）13 名

【日程】

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応
2022 年 10 月 4 日 エクアドル、エルサルバドル、ドミニカ共和国	① 挨拶 ② 動画視聴：JICA 海外協力隊紹介 ・ペルーを具体例にあげた JOCV の紹介動画 ・JICA エクアドル事務所設立 30 周年記念動画 ③ 青年海外協力隊員紹介 ・エクアドル共和国 青少年活動 鈴木貫司氏 ・エルサルバドル共和国 日本語教育 森田 英津子氏 ・ドミニカ共和国 プロジェクト管理専門 コンピューター技術 西山 剛氏 ④ 青年海外協力隊員とのグループ別交流 テーマ「中南米諸国と日本の関係を強化するためにできること」 ⑤ 全体質疑応答 ⑥ 記念撮影	参加者は、青年海外協力隊紹介の動画を視聴して、事業内容について理解を深めた様子でした。協力隊員とのグループ別交流では、日本から遠く離れた任地で長期に渡り活動をする上での難しさや苦労体験に関する質問がありました。また、時間に関する観念の違いや食生活、余暇活動等、文化的な側面での意見交換が多くなされました。スペイン語で多岐に渡る話題で話が途切れることがなく活発な交流になりました。 全体質疑応答では、「日常生活に音楽とダンスの欠かせない中南米諸国で、その恩恵を得られているか」「赴任国の好きなところはどこか」等の質問がありました。

	⑦ 閉会	
--	------	--

2. 記録写真

	
JICA 海外協力隊の自己紹介	JICA 海外協力隊との質疑応答
	
グループ別プログラムでの参加者交流	講師との記念撮影

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ エクアドル 専門高校生

青年海外協力隊員の皆さんの経験を聞けて良い機会でした。特に今回は私の国エクアドルでご活躍の方がいらっしゃることを知り嬉しかったです。

◆ アルゼンチン 専門高校生

青年海外協力隊員の3名の方はとても感じが良い方々で、アルゼンチンで協力隊として活動を行なわれている方とお知り合いになりたい気持ちになりました。また、日本から専門家として派遣される方から直接研修を受けたい希望があります。私自身アルゼンチン経済省の知的財産局でアドバイザーをしているので、この分野での日本の協力があるのか否かを知りたいと思います。

◆ グアテマラ 大学生

現役の青年海外協力隊員の方々との交流は楽しく実りあるものでした。協力隊の皆さんの中南米に対する展望や実体験を知ることができた上、日本のことを知ることができました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ JOCV 隊員

色々な国から参加者がおり、共通言語（スペイン語）で各国のコロナ禍の状況や日本との縁、ボ

ランティアとの関わりなどの話が聞けた事は大変良い経験となりました。

◆ **JOCV 隊員**

他の南米諸国の人たちと話せる良い機会でした。協力隊員同士でも今後交流・協力していければ良いなと思います。

5. グループ別交流での意見（抜粋）

テーマ「中南米諸国と日本の関係を強化するためにできること」

- 同窓会の募集の際、同窓生に限らずあるあらゆる人を募ることができるように募集枠を広げる（交流の働きかけ）。
- 各国におけるプログラムに参加した成果を参加者間で共有する。情報共有をして自身が当事業に関わる一人であることを認識する（連携強化）。
- 対面活動の実施や人間関係を構築するためのネットワークを結成する（連携強化）。
- 地方都市において対面活動を実施する（活動促進）。
- 一般の人々とプログラム参加者や日本の関係者との社会的なつながりを生む活動や、一般の人々に魅力ある日本文化を発信する活動を実施する（交流推進）
- 活動について同窓会の中で自分たちの持っている知識を共有し、発信する（交流推進）。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）